

# スメアだ、スミアだと発音に厳しい先生に質問!!

## SMEARの和訳はなんですか？

## 日本語でスメアってなんと表記しますか？

### SMEAR とは

#### 他動詞

1. 〔油・ペンキなどを〕塗りつける
2. 汚す、こすって不鮮明にする
3. 〔他人を〕（誹謗）中傷する、〔名声などを〕けがす◆比喩的  
・ Don't go around smearing my good name.: 人間きの悪いことを言わないでくれ。

#### 自動詞

染みが付く、汚れる

#### 名詞

1. 油性の物、塗り付ける物、〔陶器の〕うわぐすり、〔油性の〕汚れ、染み、汚点
2. 塗布〔塗抹〕標本
3. 〔〔悪意のある〕非難、（誹謗）中傷、悪口

参考：英辞郎 on the WEB  
<https://eow.alc.co.jp/search?q=smeare>

### 最初に塗りつける、擦り付ける層と見抜いて

この名を付けた欧米の先生は、かしこかった！本質がわかっていた。

ところがそれに続いた後続（我々を含めて特に英語が母国語の欧米のエンド医）が、極めて問題ありでした。

母国語で『塗りつける層、擦って汚す層』と日々連呼してるくせに、本質を理解せずに、拡大→洗浄→消毒などと意味なく蘊蓄と無駄な3段活用に操作を分けて、同時洗浄、同時消毒の工夫さえできませんでした。

感染処置なんだから、ぐずぐずのんびり何回にも分けて開けてないで、1回で、何割残る？なんてくだらない研究に時間をかけないで、1回で綺麗に残さず取り切る研究になぜ時間と知恵を使わなかったのか！！

つくづく我々の時間と研究の掛け方に問題があったと。

研究は『感染症だから、如何にして1回で残さず削りきるか。』に全勢力を傾けるべきだったのに、『どれくらい残るか？35？30？』などくだらないところに知恵と時間を費やしていました。

### スメアフリーノンコンタミ拡大法って知ってますか？

確実な全周拡大力を持つ機能ゆえ、キツツキコントラは6冠達成しています。

東京都主催の世界発信コンペティションにてベンチャー技術大賞  
機械振興協会の審査委員長特別賞を大学と共同受賞  
りそな財団の産学連携特別賞  
東京都輸出公社による選定品指定  
日本デザイン振興会のグッドデザイン賞受賞  
第10回 技術経営・イノベーション大賞 選考委員特別賞



<https://www.neustadtjapan.com/>

# そもそもなんで日本ではスメア層などという半分英語で半分日本語を混ぜた変なチャンポン語を使ったんでしょう？

どうしてスメアレイヤーと全て英語で言い切らなかったのか？

これこそ大して英語ができないのに、英語かぶれの知識人を気取る日本人の愚かさの骨頂です。

明治時代の先人たちのように、全部日本語にした方が意味がはっきりしてもっと早く本質に気がついてたかもしれません。

ポテトスティックをポテト棒、キッチンナイフをキッチン包丁と呼んでるようで気持ち悪い。

## ところで読み方をスミアだスミアだと細かいことにはうるさいけれど

そもそも英語の“SMEAR”の意味をエンド医は誰か論議したり問題提起をしたでしょうか？

本来 SMEAR とは「塗りたくる、なすりつける。」そこから派生して中傷する。という意味です。

つまり日本語にすれば「なすりつけ層」ということ。あるいは「塗りたくり層」。

根管の中で、なすりつけて出来上がるレイヤー、が本来の意味。

なんで日本語で初めっから「なすりつけ層」と名付けておかなかったのか。

もし初めっから「なすりつけ層」と名付けてあったら、きっともっと考察が進んでたと思いませんか？

まさに英語かぶれの弊害の結果そのものです。

### ● 欧米のエンドの先生に言いたい。 ●

- こんな英語の用語を日々連呼して「なすりつけ層」と言っているけど本質に気が付かないあなた方は本当に賢いのか？
- 舶来のエンドって実はこんなレベルなんじゃあないのか！！
- 無論この程度の舶来エンドを吟味もせずありがたがる先生たち！あなた方は本当に精密で緻密な舶来エンドを構築したのか？
- 細かい専門用語を駆使してケムに巻いてるだけではないのか？
- 枝葉（えだは）の論議に引き込んで勝った気になって、大局を見ていなくて根本的に間違っていないか？
- 遅ればせながら気がついた我々日本の臨床医の方が欧米よりクレバーではないのか？

そもそも根管拡大の前にはこの「なすりつけ層」は存在せず、拡大後にこの「なすりつけ層」は出来上がります。つまり人口造形物、英語で言えば「アーティファクト」です。

では何でこの「なすりつけ層」は出来上がるのか？

それは、拡大時同時洗浄もせずに削り取った感染歯質粉を、根管の中に残したままスムージーのようにぐるぐる回して、かき混ぜるからです。我々はこんな単純な事にも考えが及ばず、何年もなすりつけ拡大を行ってきましたし、この理論的欠陥をいくら説明しても耳も貸さないレベルのエンド医も未だにいるのも事実です。いくら何でもそろそろ修正しなくてはいけない時期です。

洗車では水で同時に洗い流さなければ剥がれた汚れで車体が傷がつき、魚の内臓をとる時にも、内臓の匂いが再付着して臭みが出ないように流水を用います。

こんなことに長い間気づけなかった我々は本当に愚かで情けないレベルです。

せっかく先人の先生が、「なすりつけ拡大によって感染層が根管壁に形成される！」と警告を発してくれたのに、後輩の我々は凡人すぎて、SMEARの意味すら考えずに、同時洗浄も行わずに、せっせと、拡大→洗浄→消毒とくだらない作法と蘊蓄を重ねることに労力を重ねていました。実に悔しい。能力と時間を使う方向が間違っていました。

ある日ふと携帯で“SMEAR”の和訳を見てハッと気がついた我々は、今までの根治の疑問や悩みの原因に腑が落ち視界がひらけました。

そこでモヤモヤした根管治療方法を、根本から変えようと考察を始めました。

## まずは、同時洗浄、同時消毒から修正しましょう。

(感染コンタミ防止、スメア層形成阻止)

## スメアフリーノンコンタミ拡大法です。

## 思い返すと根管治療で変なことが続々出てきました。

ピンセットやミラーの洗浄で『3割血痕が残っていても蒸気滅菌するから大丈夫』などということは決して有り得ないのに治療の本命の『根管内では3割以上感染歯質が残っていても消毒するから大丈夫』という変な常識。

そもそも『根管拡大は3割残ることを前提に思考する』という発想もダメだと気がつきました。ましてや、どれくらい拡大不良が残るかなんぞに研究時間とお金をかけるのなら、いかに残さないかを、メーカー戦略の思惑を外れて考察すべきでした。

回転拡大ではどうやってもまんまるな円形でしか開かなく、フィンやイスマスだ、イスマスだとここでも発音にはうるさい癖に隙間は開けられないのに、開けられない原因を根本的に改善することなく、大局から見ることができずに、メーカーの後押しのあるニッケルチタンファイル営業の手先によって回転系の小手先の改良に走ってきました。

回転系では（近事になってブラッシングモーション、かつてはペッキングモーションと言うように）かき混ぜるだけではデブリ排出能力が劣り、どうしても上下運動によってデブリ排出操作が必要になります。

ただ、高価なニッケルチタンファイルを販売したい側にとっては、毎分100回以上の上下運動を行ったらニッケル合金の金属特性から容易く折れてしまうので、高速化は禁忌でここでもいかにもな英語を使って蘊蓄と目先の変更を行おうとします。

## 無論英語大好きですから、 怪しげな英語の導入には凝ってます。

そもそも、ブラッシング（英:Brushing）とは、電子商取引で使われる詐欺テクニックである。ことをご存知でしょうか？深い意味もなく当てはめるから、バレた時の恥ずかしさといったらありません。

どうしても金属切削の範疇で考えるのなら、『ファイルの語源である削り取る基本操作』に立ち返るべきです。ロータリーは本来リーミングをするので、ロータリーリーマー。REAMERは穴をかがる物の呼称。Hファイルは上下駆動で削り取るファイリングをするのでHファイル。

REAMERとは『穴ぐり錐』のこと。

回転運動で穴ぐりをするリーマーをナイタイファイルと呼ぶことも、SMEARと同じ英語の誤用。ナイタイリーマーが正しい。

## まずは、同時洗浄、同時消毒から修正しましょう。

（感染コンタミ防止、スミア層形成阻止）

## スミアフリーノンコンタミ拡大法です。



### ノイシュタットジャパンパンフレットアーカイブ

ノイシュタットジャパンのホームページから、過去のパンフレットを無料でダウンロードできます。

様々な症例、事例などを掲載しておりますので、ぜひご活用ください。



本来ならばスチールのHファイルを高速に上下運動して、掻き出しと同時にデブリ排出を行えばいいのですが、ニッケルチタンファイルの売上減少というわけにはいけないメーカーと、そのメーカーの支援を長いこと受けた専門医は、昨今のジャニーズ事務所と同じでなかなか現状から抜け出られず、ニッケルチタンファイル使用範囲の中で新しい言葉を生み出して誤魔化すしかないのも、経済活動としては理解はできます。

一方でそのようなしがらみのない歯科医師集団が、今は2,000本のファイリングコントラを折れない安いスチールファイルを日々使って高速根治を実践しています。

毎日3根管と低く見積もっても日々6,000回、毎月20日で12万回、年間優に100万回以上の症例に使われています。この数に匹敵する根管治療をニッケルチタンファイルで行っているのでしょうか？

レギュラーキッツキでは大昔SECで失敗したストローク不足と強度を改善し、レギュラーキッツキに手慣れた先生用には、従来の2倍速で毎分最大2万回高速ファイリングするW速度コントラも普及してきました。毎分2万回ファイリングしてもスチールファイルは破折不い事実も認識が進んできました。

ある埼玉の先生が実験用に作った等速で動く毎分4万回ファイリングする爆速ファイリングコントラのセミナーでの実演から、「スチールファイルは毎分4万回爆速ファイリング駆動しても折れない！！」という実証によって作られました。

ただしこれらの毎分2万回の高速ファイリングを経験してしまうと、100分の1にも減速して、(高速道路で時速100キロで走った後で時速1キロで走れと言われるようなものですね。) 毎分200回転などという超超低速回転に耐えられず、つい20分の1の減速で毎分1,000回転でニッケルチタンファイルを使ってしまい、瞬時に破折を起こす事例も多いです。

(時速100キロで走った後に時速5キロ走行はまだまだきついです！！)

この根管治療迅速化のコンセプトから、今回東京大学口腔外科と協力して、根管治療の前の浸麻時間を短縮する浸麻パッチも製薬会社から発売されました。アネスパッチ。(P6参照)

今こそ、ぐだぐだした過去の方法に固着せず、新しく革新する歯科に移行すべき時代が来ました。

35%も根管内に残ることを前提のお粗末な根管治療が、他の業種から尊敬の念を持たれることは絶対にあり得ない上に、このままで歯学の評価を上げるのかを、エンド医もメーカーも真剣に考える時期です。

ミラーの洗浄で「35%汚れが残っていても蒸気滅菌するから大丈夫！」とは絶対にならないのに、根管内では良しとする歯科だけの、あまりにもなバカ加減常識にそろそろ気がつかねば、根本的医療費改善には絶対つながりません。

今我々は日本から、欧米の根管治療を凌駕する新しい根管治療法を提示して、いまだに“SMEAR”の意味も毎日口に出してるのに分かっていない欧米の歯学界を指導したいと思いはじめました。

私たちは同じ志の東京大学医学部口腔外科、東京工業大学と提携を組み、一体となって歯学の修正を行おうと思います。

一度、コンタミ<sup>(\*)</sup>や感染症処置の基本について公開ディベートしませんか？根管印象討論でもいいです。そして、さらに精緻な根管治療理論体系を一緒に構築しましょう。

## contamination

(\*1) コンタミ (コンタミネーション) とは混入すること。

製造業技術用語集にも下記のような記述が掲載されている

加工屑の付着が、商品価値の損失や信頼性の低下、不良品を招くことや、コンタミを防ぐには、洗浄の方法が重要である。

参考：技術伝承と発展を支援するものづくりエンジニア向け技術用語サイト『モノシリ』  
<https://www.ipros.jp/monosiri/term/コンタミ>

## 問題解決法には 2 種類あります。

現状の中で工夫して修正修正で対処するアプローチ法と根本解決で問題解決を図ろうとする方法です。

かつてレコードの時代は、レコードの製法やレコード針の工夫を重ね、カセットテープではテープ素材の改良に邁進しました。でこの現状範疇の中の改良が長引けば長引くほど、次のデジタル化では一気に時代が変わっていきました。

歯科でも根管治療や歯科麻酔法は長い間小手先の改良はあっても根本的な革新がありませんでした。その分一度革新が来ると一気に今までの矛盾が露呈して改革がドミノ式に次から次へと起こっていきます。

長い間同じことを行っていると、思考が固定化し、その固定した蘊蓄を踏襲する先生方が増え、利権も生じ、師弟関係の固定化も起こります。これが茶道や書道なら良いのですが医療で起こると進展阻害の要因になります。

せっかく先人が、「根管壁の感染は人為的なこすりつけによって起こる。」と看破したのに、我々後輩が、凡人的発想で35%以上残す前提の中での解決策に四苦八苦し、メーカーは高額なニッケルファイルを売り込まないと利益が出ない営業的理由から、多くの先生を講師に巻き込んで、この収入と名声から逃れられなくした構造は、極めて日本的で、ジャニーズ問題と全く同じ構造をしています。これは本来同業で助け合うはずの歯科医師が、メーカーの手先となって後輩を負の循環に誘導する構造です。

各自が利害関係、過去の権威を離れて、歯学全体の高精度化を行わなければ、この低い歯科単価を改善できるとは思えません。

そんなことを憂える歯科医師集団が今 2,000 クリニックになりました。売上を束ねれば 1,000 億を超える集団です。この集団が、今までのしがらみを超えて、新しい歯科診療方法を考えだしています。

### まずは、同時洗浄、同時消毒から修正しましょう。

(感染コンタミ防止、スミア層形成阻止)

### スミアフリーノンコンタミ拡大法です。

全国主要都市にて、側方拡大根管治療セミナーを開催しています。側方拡大の実際がわかります。

※3,000 円 / 人 (税込) ※キツツキをお持ちの方は参加費何度でも無料

※キツツキコントラ以外にも、新製品 / キツツキタービン /

新開発品情報 / アフターキツツキ情報 等あり

※右記二次元コードからお申し込み可能です。



### ノイシュタットジャパンパンフレットアーカイブ

ノイシュタットジャパンのホームページから、過去のパンフレットを無料でダウンロードできます。

様々な症例、事例などを掲載しておりますので、ぜひご活用ください。



局所表面麻酔用 医療機器

医療機器届出番号:26B2X10034000001 / 26B2X10034000002

注射で泣く子を、  
ゼロにしたい。

# アネスパッチ

AnesPatch

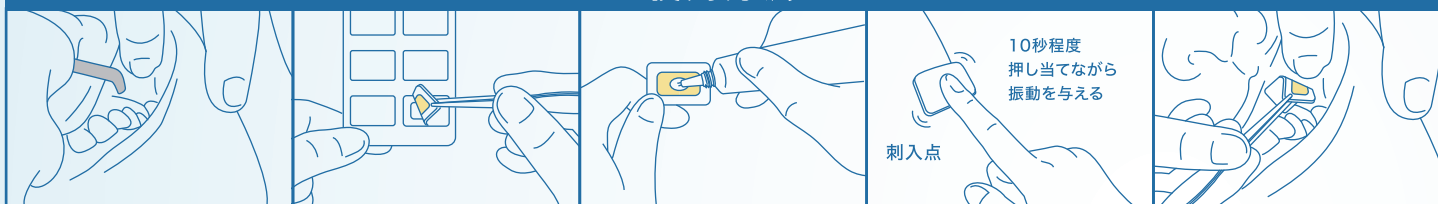
アネスパッチはマイクロニードル技術を歯科表面麻酔に応用した医療機器です。長さ250~300 $\mu$ m、数百本の微細な針が歯肉の上皮部(薬物透過バリア)表面に圧迫、穿刺することにより薬剤を素早く吸収させることを可能にしました。

## 推奨

- アネスパッチ(S)は、小児全顎、大人前歯部  
アネスパッチ(L)は、大人臼歯部への使用を推奨します
- 浸麻の際、注射針は31~35Gを推奨します
- 歯科用表面麻酔薬は、「ネオザロカイン パスタ」、  
「ハリケイン ゲル」を推奨します



## 使用方法



浸麻の刺入点をエアードレックでしっかり乾燥させる  
本品1枚の端をピンセットで持ち、離型フィルムから取り出す  
表面麻酔薬をパッチ中央のマイクロニードル部に適量のせる  
浸麻の刺入点に貼り、指先で押し当てながら10秒振動を与える  
1~3分後にゆっくりはがして表面麻酔は完了

【使用上の注意】 本品使用により、感染または、皮膚(粘膜)障害と思われる症状(発赤、発疹、痒み、水ぶくれなど)が現れた場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置をすること。粘着テープにかぶれやすい方は注意して使用すること。

【保管の方法】 高温・多湿を避け、塵やほこりのない清潔な場所に保管すること。

詳しい使い方を動画で  
こちらから  
ご視聴できます



商品概要	商品名	入数	価格(税抜)	商品サイズ(1枚)
	アネスパッチ(S)	1セット/5シート 30枚入	¥3,400	21mm×14mm
	アネスパッチ(L)	1セット/5シート 20枚入	¥3,400	28mm×18mm

発売元 ノイシュタットジャパン株式会社  
東京都江戸川区南小岩7-13-1 お問合せ先 050-3647-4188

製造販売元 コスメディ製薬株式会社  
京都府京都市南区東九条河西町32 お客様相談室 075-748-8470

ご注文はコチラ▶

※セット販売もあります。

